

# 松本美和子

## ソプラノ・リサイタル&ミニレクチャー

Miwako Matsumoto Soprano Recital & Lecture

### 第1部 リサイタル

バッサーニ：眠っているのか、美しい女よ

G. B. Bassani : Dormi, bella, dormi tu?

スカラッチェ：すみれ

A. Scarlatti : Le violette

ベッリーニ：喜ばせてあげて

V. Bellini : Ma rendi pur contento

トスティ：そうなってほしい

F. P. Tosti : Vorrei

ピゼッティ：牧人たち

I. Pizzetti : I pastori

ドビュッシー：星の夜

C. Debussy : Nuit d'étoiles

フォーレ：夢のあと

G. Fauré : Après un rêve

シューマン：くるみの木

R. Schumann : Der Nussbaum

ドヴォルジャーク：《ルサルカ》より〈月に寄せる歌〉

A. Dvořák : "Song to the Moon" ("Měsíčku na nebi hlubokém") from *Rusalka*

他

### 第2部 ミニ・レクチャー

～本学学生を対象とした公開レッスン形式～

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

ピアノ＝ヴァンチェンツォ・スカレーラ



©木ノ下晃

12/13 (水) 6:00p.m.開演 (5:30p.m.開場)

武蔵野音楽大学ブラームスホール

西武池袋線「江古田」駅下車、北口より徒歩4分 / 西武有楽町線「新桜台」駅下車、4番出口より徒歩4分

お問い合わせ 武蔵野音楽大学演奏部 Tel. 03-3992-1120

主催：武蔵野音楽大学

<http://www.musashino-music.ac.jp/>

チケット取り扱い

チケットぴあ Tel. 0570-02-9999 (URL: <http://pia.jp> Pコード: 344-578)

武蔵野音楽大学演奏部窓口 Tel. 03-3992-1120

※武蔵野音楽大学ウェブサイトでのご予約(当日精算)も承っております。

武蔵野音楽学園公式 SNS

### 松本美和子 Miwako Matsumoto, Soprano

武蔵野音楽大学卒業、同専攻科修了。1964年日伊声楽コンクール特別賞受賞。1965年毎日(現日本)音楽コンクール第1位、同時に海外コンクール派遣代表決定特別審査委員会の特別表彰を受賞。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院を首席名誉賞受賞で卒業。1972年ローマ・アカデミア・サンタ・チェチーリアを修了。1972年ローマ国立歌劇場で「カルメン」のミカエラでデビュー以降、イタリア国内はもとよりベルリン、デュッセルドルフ、フランクフルト、バイエルン国立歌劇場、バルセロナ、ウィーン国立歌劇場、ロンドンのロイヤル・オペラ、シカゴのシビック・オペラハウスなど、世界各国の主要オペラ劇場に出演。共演した歌手もヘルマン・ブライ、アルフレッド・クラウス、ホセ・カレーラス、ルッジェーロ・ライモンディ、ホアン・ボンズ、カーティア・リッチャレリ、ゲーナ・ディミトローヴァ、ホセ・ファン・ダム、グレース・ハンブリー、エヴァ・マルトン、ギネス・ジョーンズなどに及ぶ。1991年10月ウィーン楽友協会にて、日本人としては初めての楽友協会主催によるドイツ歌曲の夕べに出演し大好評を博した。1996年4月トスティ生誕150周年記念コンサートを紀尾井ホールで開催し、トスティ100曲を歌いあげて大きな話題をよんだ。同時にトスティ歌曲集大成全74曲をCD録音し、「極めて芸術性の高い音楽」と絶賛されている。1998年4月ブッチェーニの「蝶々夫人」のタイトルロールで新国立劇場98-99シーズンの幕開けを飾り、新聞各紙で絶賛を博した。音楽活動の他にも次世代の育成をライフワークのひとつとして取り組んでおり、生徒の一人である佐藤美枝子が1998年チャイコフスキー・コンクールで日本人として初めて優勝した。1999年レスピーギ生誕120周年にあたり、それを記念して日本で初めて、全曲レスピーギのCDをビクターよりリリース。2002年トスティ歌曲集V、近代イタリア歌曲集IIをビクターよりリリース。2002年12月ソフィア国立歌劇場「ラ・ボエーム」の公演に出演。さらに2003年6月A.ブゼヴィン作曲オペラ「欲望という名の電車」(東京室内歌劇場主催)にも出演、好評を博した。2005年デビュー40周年を迎え、紀尾井ホール、府中の森芸術劇場にて記念コンサートを行った。2009年ブーランクのモノ・オペラ「声」で大成功をおさめ、以来ライフワークとして毎年同オペラを歌い続けている。1986年ジロー・オペラ大賞、1990年新日鐵音楽賞特別賞、1998年モービル音楽賞を受賞。2006年4月これまでの演奏活動が高く評価され、紫綬褒章を授与される。2012年これまでの功績を認められ、旭日小綬章を叙勲された。二期会会員。現在、ソロリサイタルをはじめ、精力的に演奏活動を続けている。武蔵野音楽大学特任教授。

### ヴァンチェンツォ・スカレーラ Vincenzo Scalerà, Piano

アメリカのニュージャージー州出身。5歳よりピアノを習い始める。11歳の時に、祖父が聞いていたカルーソーのレコードを耳にしてオペラに目覚め、少年期をメトロポリタン歌劇場に通い続けて過ごす。オペラに携わって仕事をしたいという強い熱意は、やがて声楽の伴奏者としての道に進む決意に変わり、マンハッタン音楽学校で教育を受ける。ピアノ演奏の学位を修得し、卒業した後、ニュージャージー州立歌劇場の副指揮者兼リハーサルピアニストに就任、そこでオペラ公演に必要な様々な経験を積む。1980年からはミラノ・スカラ座の副指揮者兼リハーサルピアニストに就任。クラウディオ・アバド、カルロス・クライバー、ジャンドレオ・カヴァッツェリーニ、リッカルド・シャイーらの助手を務め、さらに研鑽を積む。エジンバラ音楽祭、マルティナ・フランカ音楽祭、エルサレム・フェスティバル、イスタンブール音楽祭、オランダ音楽祭、ケルンテルン夏の音楽祭、ベザーロ・ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなど、数多くの著名な音楽祭にも出演している。伴奏ピアニストとしては、劇場での仕事によって得た経験と知識に加え、天賦の音楽性と優れた感性で、常に「伴奏」の域を超える芸術性の高い演奏を行い、その演奏は“名手スカレーラ”“歌を支える名伴奏者”“スカレーラの名人芸”などと称賛される。彼の伴奏はスカレーラ流ともいわれ、オーケストラでの伴奏をピアノで表現したような独自のものがある。音楽に息吹を与え、その新鮮な驚きと魅力は聴く人をドラマの世界に引き込んでゆき、聴く人の心をとらえて離さない。また共演者からの信頼も厚くカルロ・ベルゴンツィ、ホセ・カレーラス、カーティア・リッチャレリ、レオンティーナ・ヴァドヅァ、モンセラート・カバリエ、ジュゼッペ・サバッティーニ、スミ・ジョー、レナータ・スコット、ティッツィアーナ・ファブリッチェーニ、ファン・ディエゴ・フロレスなど一流声楽家のリサイタル伴奏者として世界各地で活躍しており、常に高い評価を受けている。また、録音も数多い。1997年以来、イタリアのサヴォナでのレナータ・スコット・オペラ・アカデミーで、ピアニスト対象の「伴奏」と歌手対象の「オペラ作品」の両クラスの講師を務め、現在は、ミラノ・スカラ座のアカデミー校でオペラ・マスタークラスの講師を務めている。度重なる来日で、多くのファンを魅了し、圧倒的な支持を得ている。